SMP4BIKE TOURISM

SELLE SMP

JAP

保証について

Selle SMPは当商品に対し、レシート、あるいは最終販売店や販売員が発行した税務書類に記載されている購入日より24ヵ月間の保証期間を設けております。購入された商品の明細が、これらの書類に記載されていることが条件となります。

保証対応としての作業は、製造過程の中で生じた欠陥があると認められた部品の無料修理または交換のみが対象となります。
サドルを同一製品または同等の仕様を備えた別の製品との全面的または部分的交換を行うかについての決定は、Selle　SMPに一任されるものとします。また、修理や交換が行われた後に保証期間が延長されることはありません。

以下の場合は保証の対象外となります：

- 摩耗した部品
- 不適切な操作や、不注意、および誤った使用や取り付けに起因する損傷
- 不適切な使用方法、あるいは取り扱い、取り付け、およびメンテナンスに関して説明書に記載されている注意事項に従わない使用方法に起因する損傷
- 製品の機能に支障のない、外観の小さな欠陥
- 製品とは無関係の外部的事象に起因する損傷

Selle SMPによる認可を受けていない人物による不適切な操作、分解、修理、およびその他のあらゆる作業、または当書類に記載されていない内容全般に関しては、保証は適用されませんのでご了承ください。

当保証の内容に関する変更は一切認められません。解釈にあたり疑問が生じた場合は、このマニュアルのイタリア語の原文を参照していただく必要があります。
紛争に関しては、いかなるものも例外なくイタリアのパドヴァ裁判所のみが司法権を有するものとします。

注意書き

注1：摩耗した部品の交換作業はSelle　SMPに一任された決定のもとに実施されるものとし、購入日から3年が経過しているものについては、いずれの場合も交換対象外となります。このような部品への作業費用は、いかなる場合も利用者様のご負担となります。
注2：製品表面の変質や色落ちは、使用頻度が比較的少ない場合も含め、製品の使用やさまざまな環境条件から受ける影響により自然に発生したものとされ、保証の対象にはなりません。このような現象は、特に明るい色（ホワイト、イエローなど）の製品に多く見られます。
注3：Selle　SMPの全製品は、　UNI　EN　4210-9、UNI　EN　4210-3、UNI　EN　4210-2、UNI EN 16054、およびUNI EN ISO 8098の規格により規定されている範囲と条件にもとづいて検査と保証が行われます。
注4：記載されている値との重量差が±15%の範囲である場合、部品が職人の手作業により作られたことに起因するものであり、製品は正常の状態であるとみなされます。

Selle SMP　のサドルをお買い上げいただき、ありがとうございました。弊社は1947年から変わらぬ入念さと情熱でサドルを製造し続けています。お手元のサドルは、考案、設計、製造のすべてをイタリア国内だけでおこなった結果、生まれたものです。
弊社がそのサドルを自慢することをお許しください！

お客様に完全に満足していただけるように製品には万全を期しておりますが、何かお気づきの点やご意見がございましたら次のサイトからご連絡ください。
www.sellesmp.com

フランコ・スキアヴォンと
マウリツィオ・スキアヴォン

100% Handmade in Italy
GUARANTEED

取り付け方

1 • 一般原則

弊社のサドルは体重を臀部と骨盤下部の骨に分散するように設計されています。
体重の分散とすわり心地の良さは自転車走行中に坐骨結節がどのようにサドルに支えられているかに影響されます。その位置はいくつかの要因により決定されます。

- ペダルからのサドルの高さ
- サドルからハンドルバーまでの距離
- 自転車のモデル
- サドルの傾き

サイクリストは自らの体型にあわせてこれらのパラメータを調整します。優れた調整結果を得るためには、以下の説明にあるステップにしたがってサドルを取り付けることが大切です。

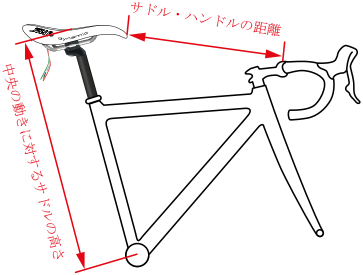
2 • 最初の位置定め

新しいフレームへの取り付け

自らの体型に基づいて、自転車メーカーが推奨するハンドルバーまでの距離と高さを守りつつ、サドルを置きます。

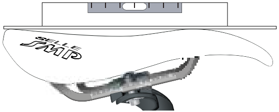
旧サドルの交換

1. ハンドルバーから旧サドルまでの距離を測定します
2. ボトムブラケットから旧サドル上面までの距離を測定します
3. 新しいSMP のサドルを上記の測定値を基準にして置きます



3 • 気泡管水準器で確認

小さな気泡管水準器を使って、サドルが水平になるようにサドルクランプを動かして調節します。

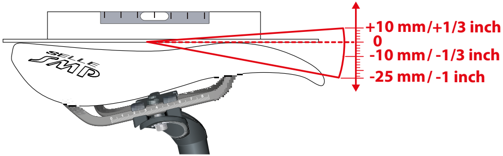


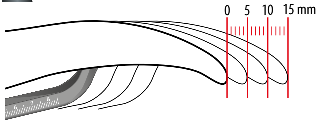
4 • 微調整（路上テスト）

上記の説明にしたがってサドルの位置定めを終えたら、路上で実際の「感触」を試しながら、完璧なバランスのあるすわり心地が得られ、サドルの形状と自らの坐骨結節がぴったりとフィットするまで、アーレンキーを使ってサドルクランプを動かして調整します。

サドルノーズの傾きは+ 10 mm ～ – 25 mm の範囲で変更できます。

JAP



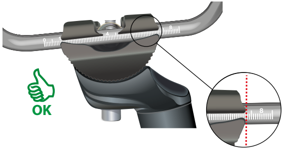


ノーズ先とハンドルバーの距離は、5 mm、 10 mm、15 mm 間隔で短くすることができます。

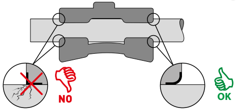
5 • サドルシートを選ぶときの注意

サドルシートはサドルフレームの耐性に大きく影響します。このような理由で、Selle SMP は次のような特徴を持つサドルシートを選ぶことを推奨します。

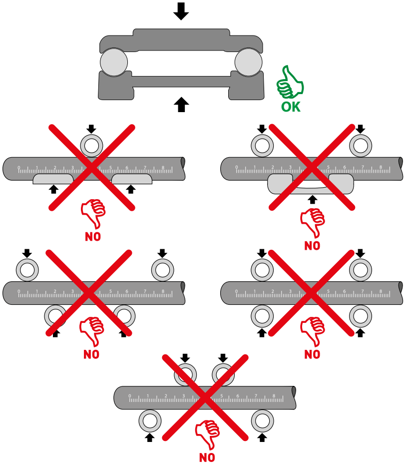
1. サドルの適正な位置定めを可能にする



2. サドルフレームの耐性を損なうような角ばった形をした隅がない

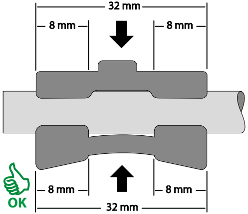


3. クランプは、十分な面積で接触して適正なカプリングとなるように、サドルフレームの外形表面を同じ形状を持つ

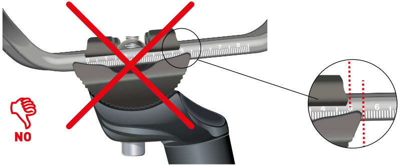


4. サドルシートとサドルフレームの接触面積が 8 cm^2 以上である

5. クランプはサドルフレームと 32 mm 以上の長さで接触する

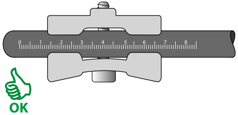


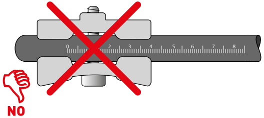
6. サドルフレームとのカプリング表面が左右対称で平行である



7. クランプがサドルフレームを変形させたり、損傷したりすることがない

8. サドルシートのクランプが目盛りが付いている範囲の外に出ない



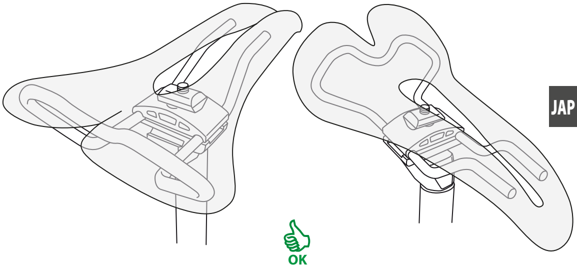


9. サドルシートの製造メーカーが推奨する締付トルクが厳格に守られていること

10. サドルシートが、ヨーロッパ標準規格である UNI EN 4210-、UNI EN 4210-3、UNI EN 4210-2、UNI EN 16054、UNI EN ISO 8098 の要件に適合していること。

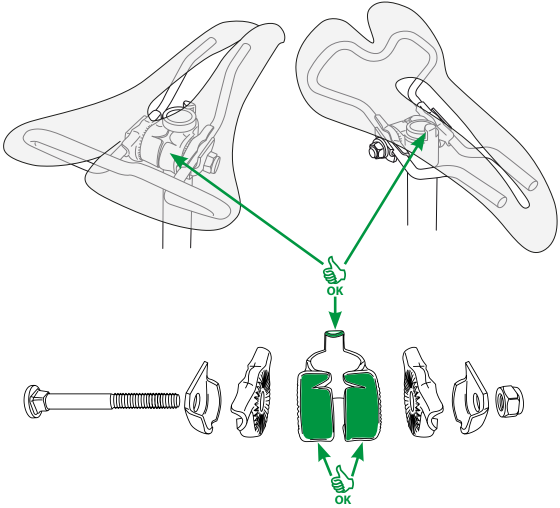
11. ⚠ サドルシートを選ぶときの重要な注意

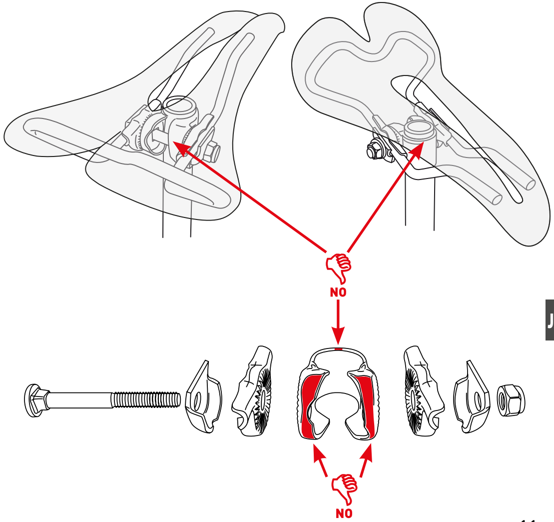
Tourism シリーズのモデルは、可能な限りシートピラーにサドルが統合されたタイプ（下図 に示すものまたはそれに類似したもの）に取り付けるよう設計されています。このようなタイプのものだと、サドルを極めて安全かつ正確な位置に固定することができるからです。



JAP

MartinとE-Bike以外の全てのモデルは、サドルシートクランプを使って自転車に取り付けることも可能です。その場合は、5コンポーネントタイプで下図に示す安全機能を備えたクランプをお使いください。不明な点や詳細についてはSelle SMPまでお問い合わせください:
E-mail: info@sellesmp.com
Tel.: +39 049 643966





メンテナンスと点検

お買い上げの　SMP　サドルに小さな表面的欠陥がある場合、それは職人が製品を入念に手で仕上げたことを示す最高の証明です。表面的な変質や色落ちは、限られた使用で発生した場合でも、使用やさまざまな環境条件にさらされることによる自然な成り行きと考えられるべきものです。特殊なタイプの発汗やただれ防止クリームは上皮を損傷することがあります。

上皮のメンテナンス

- クリーニングには、湿らせたセーム革または　Selle SMP　が推奨する製品を使用してください。
- 洗剤や高圧噴射水を使用しないでください。

この注意を怠るとサドルの上皮を傷めることがあります。

安全性の点検

- サドルシートの固定装置が緩んでいないかどうかを定期的に点検し、必要があれば適正に締め付けてください。
- サドルのレール（メタルフレーム）と基盤（プラスチックフレーム）に動く部分や隙間がないかを定期的に点検してください。動く部分が見られる場合は使用を中止し、Selle SMP　の販売店にご相談ください。
- サドルからきしむ音がする場合は、念入りにクリーニングし、サドルシートとのカプリング部分にグリスを塗布してください。
- サドルに目に見える破損がないかを点検し、ある場合は使用を中止してください。

使用限度

Selle SMP は技術、臨床の点で市場で最も進んだサドルを製造しています。しかし、どのようなサドルであろうとも、短い使用期間であっても不適正に使用すると損害を引き起こす可能性があります。

製品の性質上、その寿命は主として使用条件に左右されます。走行キロ数、路面の状態、天候や気候、使用者の身体的・生体力学的特徴が、製品の寿命の長短を左右する主要要因となっています。磨耗の状態に関係なく、5,000～7,000　km　を走行した後は製品の交換をすることを推奨します。
サドルの使用のしかたに関係なく、破損の疑いや確証がある場合は、サドルを交換する必要があります。

JAP

注意

注意

お手持ちの自転車に取り付けた後は本製品を細心の注意を払って使用し、添付の説明書の指示にきちんとしたがって取り扱ってください。

- 不適正な取り付けは健康に危険を及ぼす可能性があります。
- Selle SMP の製品は身体・精神が良好な状態で使用してください。
- Selle SMP の製品を不注意に使用してはいけません。
- Selle SMP の製品を使用中のお客様自身および周囲の人々の安全はお客様の責任となります。

一般的な注意

Selle SMP の本製品の使用者は、事故や重傷または致命傷の原因となる可能性があるサドルの破損も含めた、交通手段に関係したリスクのすべてを確認し、承諾するものとします。
本製品を使用することで、使用者は、Selle SMP の不注意や怠慢、隠れた瑕疵、潜在的または明白な瑕疵に起因するリスクも含めた、サドルの使用が原因で引き起こされる、自身と第三者における外傷、怪我、死亡の既知または未知のリスクのすべてを確認し、承諾するものとします。
本製品の使用に付随するリスクは、製品に添付されている参考ガイドである取扱説明書の指示にしたがうことでかなり縮小することができます。
さらに、使用者は、損害が発生した場合、法律で定められている範囲内において、Selle SMP およびその代理店や販売店がいかなる責任からも免れていることを承諾するものとします。

安全性

自転車を愛する者として、弊社はサイクリングが世界で最も魅力あるスポーツであると確信しています。しかし、サイクリングをすることで、致命的なものも含めた危険に自分自身をさらすことになることを常に意識することが大切です。Selle SMP の製品に関係する危険には以下のものがあります。

- 会陰組織の外傷。
- サドルの構成物やパーツによって引き起こされた外傷。
- 衝突や転倒による、基盤またはフレームの破損と、それによる角ばった部分および尖った部分の形成。
- サドルフレームの固定装置（例えばサドルシート）からサドルが外れること。
- カーボン製サドルは、自転車に使われている他のカーボン製コンポーネントのすべてと同じく、マウンテンバイキングに使用されるとリスクを増大させます。

危険の完全なリストを作成するのは不可能です。本製品の使用にあたっての基本的なルールは良識のルールです。本取扱説明書の指示にしたがって取り付け、使用、メンテナンスがされた場合、危険を減少させることができます。

イタリアでデザイン、
イタリアで製造、
世界中で販売

Selle SMP sas - Via Einstein, 5 - 35020 Casalserugo (PD) - Italy
Tel. +39 049 643966 - Fax +39 049 8740106 - info@sellesmp.com
ISO 9001:2015 certified

sellesmp.com

Mod LI3 Rev.2020-01
本取扱説明書に不正確な記述が含まれている場合、弊社はいかなる責任も負わないものとします。
また、弊社は、必要または有益と判断した場合は、仕様を損なうことなしに、製品を修正できる権利を持つものとします。